

建設部会長報告

会議名：建設部会

場 所：秋田商工会議所 7 階ホール 8 0

出席者：部会員 3 4 名、水澤専務理事



懇 談：県・市の建設に係る重点施策について

テーマ①「2021 秋田県の建設行政の話題」

ゲスト 秋田県建設部 建設産業振興統括監 浅井 学 氏

テーマ②「令和3年度 秋田市の建設に係る重点施策について」

ゲスト 秋田市建設部 次長 檜岡 善治 氏

協 議：2021年度 部会活動計画（案）について

テーマ①「2021 秋田県の建設行政の話題」

ゲスト 秋田県建設部 建設産業振興統括監 浅井 学 氏

- 令和3年度公共事業（建設部）予算は、令和2年度補正と合わせ約705億円であり、底値である平成24年度の約1.5倍まで回復した。さらに、追加予算分を6月補正で計上する予定。
- 12月中旬から1月上旬の県南内陸部を中心とした記録的な大雪では、北秋田・山本・秋田管内の建設企業9社から人員や機材を派遣し、平鹿・雄勝管内の市町道の除排雪を支援した。
- 建設業は地域経済・雇用を支える基幹産業となっている一方、建設業許可業者数は令和2年度末で3,818者と、平成11年度末のピーク時から33.7%減となっている。
- 建設人材確保・育成については、「秋田県建設産業担い手確保育成センター」が中心となり、若者の離職防止や県外流出防止、女性が活躍できる現場環境の整備やネットワーク構築、ICT活用による生産性向上に向けた取組を推進している。
- 令和2年度の入札不調率は4.5%で、入札参加資格の地域要件拡大等の取組により、昨年度6.8%から改善傾向にあり、引き続き、業界団体との情報交換を密にし、円滑な施工確保に向けた対策を講じていく。

テーマ②「令和3年度 秋田市の建設に係る重点施策について」

ゲスト 秋田市建設部 次長 檜岡 善治 氏

- 喫緊の最重要課題である人口減少対策に取り組むとともに、今年度からスタートした「県都『あきた』創生プラン（第14次秋田市総合計画）」に掲げた施策・事業を着実に推進するため、選択と集中による経営資源を最適配分した。
- 建設部関係予算は、河川整備工事の増額等により65.7億円で、対前年度比102%となっている。特に、市が管理する普通河川古川流域の浸水被害の軽減に向けて、国・県・市の3者が連携し、総合的な治水対策を実施する。
- 円滑な交通の確保等を図るため、千秋久保田町線の歩道工事や泉外旭川線等の道路整備・改良を行うほか、新規事業として新たに開業した泉外旭川駅の外旭川側駅前広場に路線バスを安全に乗り入れるため、経路となる県道との交差点改良工事を実施する。
- 建設産業では週休二日の取得が進んでおらず、若者労働者の担い手確保・育成を進めるうえで課題になっているため、令和2年度に引き続き、市発注の建設工事において「週休二日制モデル工事」を試行する。